

仮名垣 魯文(かながき ろぶん)

資 料

短冊 『永機宗匠の送別を桃齋君の催さるゝに
秦々の 大樹に添ふて 若楓 魯文』

作 者

1829(文政12). 1. 6-1894(明治27). 11. 8
東京京橋生まれ。

初め戯作者として横浜の開化風俗を盛り込んだ作品『西洋道中膝栗毛』や『安愚楽鍋』などを発表し、流行作家となる。明治7年『横浜毎日新聞』の雑報記者となる。明治8年には編集者として『仮名読新聞』を創刊する。

参考文献

『仮名垣魯文 文明開化の戯作者』(興津要／著 有隣堂
(有隣新書 46) 1993. 6

[県立 910. 26BB/1342(20598314)]

『假名垣魯文』(平塚良宣／著・刊 1979

[県立 910. 28/922a(21897558)]

『横濱往来』(神奈垣魯文／著 萬笈閣 1873

[地域 K291. 1/20(50041516)]

